



第 12 回 所 内 写 真 コ ン ク ー ル 参 加 作 品 「 火 道 角 礫 岩 」 地 質 部 河 田 清 雄

火 道 角 礫 岩 (濃 飛 流 紋 岩)

西南日本内帯は中生代白亜紀に入ると激しい火山活動の場となった。流紋岩類を主とするぼう大な火砕流の噴出が特徴的であった。なかでも濃飛流紋岩類は西南日本内帯の代表的な火砕流である。中部地方で濃飛流紋岩類の占める総面積は琵琶湖の7倍にも達する。この巨大な火砕流の出口つまり火道の1つが最近発見された。写真は高山線ひだ金山駅南方の飛驒川沿いに露出する火道角礫岩の一部である。火道のあとを埋めている角礫岩の礫には古生層・中生層などの外来破片や噴出当時すでにあった流紋岩がくだかれて多量に混入している。マトリックスはくだかれた岩石破片や火山ガラスの細片・火山灰で構成される。一見礫にみえるものの中にはマトリックスの部分との境に不規則ないり込みが生じているものがある。おそらく発泡したマグマのブロックがまだ熱い状態でマトリックスとの間で反応したものであろう。火山原形を留めぬ中生代の火山活動を知るうえにまたとない貴重な資料である。

- ・あけましておめでとうございます
本年もよろしく お願い申し上げます
- ・読者の皆さまのご要望により地質ニュース総目次 (No. 1—No. 148) を付録といたしました。ご活用下さい。なおバックナンバー ご希望の方は (No.85までは広報係へ No. 86以降は実業公報社) へお申込み下さい。ただし欠号が多数ありますのでご了承下さい。
- ・地質ニュースの企画 編集 その他についてのご要望は下記へどうぞ
東京都新宿区河田町8
地質調査所企画課広報係
Tel (341)—7131 内線75

| | | |
|------------------|--------------------------------|---------------|
| 地 質 ニ ュ ー ス | 第 149 号 | 1 月 号 |
| 昭和 42 年 1 月 25 日 | 定 価 | ¥ 220 千 12 |
| 編 集 | 発 行 | |
| 発 行 人 | 工 業 技 術 院 | 地 質 調 査 所 |
| 発 行 所 | 林 久 | 雄 |
| | 株 式 会 社 | 実 業 公 報 社 |
| | 東 京 都 千 代 田 区 九 段 南 4 の 2 の 12 | |
| | Tel. (261) 7 1 7 3 - 9 3 8 7 | |
| | 振 替 口 座 | 東 京 3 2 4 6 6 |
| 総 発 売 元 | 府 政 刊 行 物 販 売 所 | |
| | 東 京 都 千 代 田 区 大 手 町 1 の 5 | |
| | Tel. (211) 5 5 7 0 | |
| 印 刷 所 | 共 同 印 刷 株 式 会 社 | |